

2008 年度

科目名 仏教学 A	対象学科・学年 文学部全学科 1 回生 教育教福 1 回生 人間人社 1 回生	担当者 貫名 譲
授業テーマ 聖徳太子の仏教観にふれる		
授業の概要と目標 聖徳太子は、和国の教主（日本の釈尊）と呼ばれています。日本に仏教が伝来したのは6世紀の半ばであったとされていますが、純粋に信仰の対象としての仏教が展開していくのは、聖徳太子の登場を待たなければなりません。聖徳太子が仏教の歴史上、どれほど偉大であったかは、現在においても、宗派を越えて太子信仰というものがあることが、その影響力の大きさを物語っていると思います。 授業の中では、聖徳太子の思想を、いろんな方面から捉えてみたいと思います。		
評価方法 レポート試験（50%）、出席状況・授業態度（50%）、総合評価で行います。		
テキスト	著者	出版社
参考書	著者	出版社
授業スケジュール・内容 ① はじめに ② 「仏教」って何？ ③ 日本に仏教が伝わった頃の様子 ④ 聖徳太子と、彼を取り巻く人々との関係 ⑤ 聖徳太子の目指したもの ⑥ 聖徳太子の仏教観 1（十七条憲法） ⑦ 聖徳太子の仏教観 2（法華経義疏） ⑧ 聖徳太子の仏教観 3（勝鬘経義疏） ⑨ 聖徳太子の仏教観 4（維摩経義疏） ⑩ 聖徳太子の残した言葉（天寿国繡帳） ⑪ 伝説と真実 ⑫ 聖徳太子が及ぼした影響 ⑬ まとめ 1 ⑭ まとめ 2 ⑮ レポート試験		